

事業所名

あさがおねっと大和田

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

1月

31日

法人理念	子ども達が将来、地域資源や家族と共に生き生きと暮らせる共生社会の実現を目指すことが必要だと考えます。その為、支援を必要とする障がいのある子どもや家族・地域に対して、社会参加の機会の確保や地域での暮らしを支援します。		
支援方針	放課後の居場所として自由で楽しく居心地の良い場所となるよう、環境整備を行っています。安心した環境の中で、遊びを通して子どもの自発性を発見し、本来備わっている能力を引き出す支援をしています。これから社会に出て行く上での適応性や、集団のマナーを覚えてもらうと共に、沢山の人の愛情を受け取ってもらうのが目的です。信頼関係を築きながら、様々な取り組みに参加する中で成功体験を積み自己肯定感を高められるよう取り組み、また個々の困りごとに合わせた支援を行い寄り添い、社会への自立を目指します。		
営業時間	平日	11時30分から	18時00分まで
	土・長期休暇	9時30分から	16時00分まで
		送迎実施の有無	あり ・ なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康の増進、基本的な生活スキルの獲得を目指します。一人一人の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすいよう構造化します。日常生活に必要な支援を行い、自身で出来る事を一つ一つ増えるたびに一緒に喜び、結果だけでなく、これまで積み上げ頑張って来たプロセスを褒め、認めながら支援していきます。	
	運動・感覚	緊張や弛緩など身体のコントロールをする練習をします。また体の感覚や様々な感触に触れ、感覚の成長を支援します。体の動きをコントロールできると、気持ちや感情のコントロールにも役立ちます。また、一人一人の感覚の成長段階を把握し、遊びの中でアプローチしていきます。	
	認知・行動	観察力や色彩感覚を育てながら表現力を伸ばし、ビジョントレーニング等で認知力や表現力を育てる事で社会性が伸びるよう支援します。また情報を適切に処理、コミュニケーションの難しさから生ずる行動の予防法を考えます。何も無い、暇な時間を辛く感じる事が無いよう、待つ時間や余暇の過ごし方を一緒に考え支援します。	
	言語 コミュニケーション	「要求」「報告」「聴く」「模倣する」「観察する」など、自分も周りも大切にコミュニケーションを学べるよう支援します。言葉だけでなくジェスチャーやカード等、子どもに合った方法を一緒に考えていきます。社会的には不適切とされている行動も、子どもにとって何かの問題に「対処している行動」であると捉え、どんな問題に対処しようとしているのかを子どもに寄り添い、また観察しつつ、適切な行動を工夫し伝えるよう支援します。	
	人間関係 社会性	支援員との信頼関係を築きながら、小集団での遊びを無理のないよう促し、参加して「楽しかった、やって良かった」と良い体験となるよう働きかけています。集団での活動の中で友だちとの関りを通して実践的に学び身につけていきます。社会でのマナーを学び、他児を応援したり、協力し合ったり、人間関係の中で相手も自分も大切に行動を選択出来るよう一緒に考え支援します。	
家族支援	保護者面談を定期的に設け、事業所での様子を伝えるとともに家庭での様子を聞き取り、情報を交換出来るようにします。また保護者様の心配事への助言を行います。	移行支援	卒業後やその他、移行先にスムーズに移行出来るよう、各連携機関との連携を図り、調整を行います。
地域支援・地域連携	定期的に関係機関に連絡を入れ、情報共有を図り、今後の支援に繋がっていきます。	職員の質の向上	事業所でも定期的に研修を行い、また他の研修に参加し、職員のスキルアップに努めます。
主な行事等	外出支援・お買い物体験・創作活動・パソコン教室・夏祭り・ハロウィンパーティー・クリスマス会・節分・ひな祭り等		